

平成 23 年度 学校飼育動物柏崎地域公開講座 開催報告

(目的)

学校飼育動物を介して、命の大切さ、愛する心、思いやりの心、責任感、自制心、協調性などの情操教育への活用と動物の習性、正しい飼い方、接し方、健康管理について理解を深め、児童、保護者、学校、教育委員会、獣医師等関係者がネットワークを作り効果的な教育活動を図ることを目的とする。

日 時 平成23年8月9日(火) 13時30分から16時10分

会 場 柏崎市立教育センター 大会議室 柏崎市若葉町 2-31

テーマ 「こころ、いのち、脳を育む生命尊重の教育と学校飼育動物の役割」

講 演

○「生活科・総合的な学習の時間における動物飼育の充実」(60分)

田村 学 先生 文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官

○「学校(園)動物の飼い方・接し方」(30分)

宮川 保 先生 公益社団法人新潟県獣医師会 副会長理事

〃 学校飼育動物対策委員長

(宮川動物病院院長、新潟大学教育学部非常勤講師)

○「命あるものを大切にすることをはぐくむモルモットの飼育活動」(30分)

荒川 龍子 先生 新潟市立紫竹山小学校 教諭

笠原 武 先生 〃

○ 質疑応答 (15分)



講演する 田村先生



講演する 宮川先生

8月9日(火)柏崎市立教育センター大会議室において平成23年度学校飼育動物柏崎地域公開講座が柏崎市教育委員会の共催、新潟県教育委員会、出雲崎町教育委員会、刈羽村教育委員会の後援で開催されました。

柏崎市を中心に小学校教諭35名、中学校教諭2名、特別支援学校教諭1名、教育委員会関係者2名、県議会議員1名、市議会議員2名、動物園職員1名、獣医師9名(動物病院7名その他2名)、動物病院看護師3名、合計56名の参加をいただきました。

田村学先生からは、動物飼育と子供の姿や命を実感する子供達の様子など、動物を飼うことが大切な体験であること、また、宮川先生からは学校(園)での動物の飼い方・接し方と当会の学校飼育動物支援事業の取組みについてご講演をいただきました。

講師二人の講演の後、新潟市立紫竹山小学校で現在行われているモルモットの飼育活動について説明がありました。

参加者は講師の説明に熱心に聴講しメモを取り、質疑応答では動物の健康管理、施設管理やふれあい時の注意点、病気への対応、夏・冬休み等の長期休暇時の取組み等について質問があり、特に長期休暇では、保護者・地域住民の理解と協力が必要であるとの意見交換がされ、更に、生活科における動植物飼育の効果並びに教育活動の充実についても活発に意見交換が行われました



聴講の様子



紫竹山小学校の説明



開会挨拶 楠原会長理事



来賓挨拶 柏崎市 小林教育長